

CDPシンポジウム「自治体の環境情報開示とサステナブル金融」

CDPは、企業の他に、自治体へも環境情報の開示を要請しています。2021年、日本の189の自治体がCDPの開示要請に応じ、CDPスコアを付与されました。本シンポジウムでは、2021年の自治体の開示結果を概説いたします。

また、自治体と金融機関のサステナビリティ分野での連携を促進することを目的に、サステナブル金融の最新の取り組みもご紹介いたします。

▼ 開催概要

日時：2021年12月3日（金）14:00 - 16:00

開催形式：オンライン

参加登録：<https://cdp-jp.net/20211203> ※アクセスURLは、登録確認後、または後日、メールで送付いたします。

メディアパートナー：株式会社ジャパントイムズ

▼ プログラム（予定、敬称略）※登壇者名がない部分については調整中

1. 開会挨拶 高崎経済大学 教授 水口剛

2. 来賓挨拶

3. CDPシティ2021 Aリスト自治体表彰

4. CDPシティ

シティ概要と2021年結果フィードバック CDP プロジェクトマネージャー 山下恵理子

COP26の報告（仮題） ICLEI ジャパン事務局長 内田東吾

5. パネルディスカッション「サステナブル金融におけるCDPの活用（仮題）」

モデレーター CDP シニアマネージャー 成田恭子

パネリスト 三井住友銀行 ホールセール統括部 サステナブル推進室長 金子忠裕

三菱UFJ銀行 サステナブルビジネス部 部長 加藤晶弘

みずほフィナンシャルグループ

北九州市 環境局グリーン成長推進部環境イノベーション支援課長 村上恵美子

6. 閉会挨拶 CDPジャパントイムズディレクター 森澤充世

登壇者プロフィール（アジェンダ順）



ICLEI ジャパン 事務局長 内田東吾

2006年5月に国際協力銀行（JBIC）に入行。専門調査員として世界銀行、アジア開発銀行などの国際機関のほか、韓国・中国・タイなどの援助機関との連携業務に携わる。2009年4月から国際協力機構（JICA）の企画調査員としてタイに3年、カンボジアに5年勤務。環境・気候変動分野の国際協力事業を担当し、環境公害対策、気候変動対策のほか、都市の環境インフラ支援事業に従事。2017年7月に（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）に入所、ASEAN各国都市のSDGs推進事業を担当。2018年7月より現職。



成田 恭子 CDP Worldwide-Japan シニアマネージャー

CFA協会認定証券アナリスト、日本証券アナリスト協会認定アナリスト、1級ファイナンシャル・プランニング技能士。チェース・マンハッタン銀行 審査部アナリスト、日本格付研究所 格付審査課長、欧州系証券会社でクレジット・リサーチ共同部長のポジションを経た後、T&Dアセットマネジメントにてバイサイドアナリストとして、債券アナリスト、外債ファンドマネージャー、日本株のESGリサーチファンドのアナリスト業務に従事。2018年1月より現職。



森澤 充世 CDP Worldwide-Japan ディレクター

CDP Worldwide-Japanディレクター、PRIシグナトリ・リレーション ジャパンヘッドを兼務。シティバンク等で金融機関間決済リスク削減業務に従事後、2006年CDPの世界的拡大に伴い、日本担当としてCDPに参加する。2010年PRIの日本ネットワーク創設にあたり、日本の責任者として参加する。東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、博士（環境学）。

以上